

株主・投資家の皆様へ

第21期

# 株主通信

平成24年1月1日から平成24年12月31日まで

## CONTENTS

株主の皆様へ.....	1	トピックス.....	11
特集.....	2	会社概要.....	12
事業の概況.....	5	株式の状況.....	13
シークスグローバルネットワーク.....	7	役員の状況.....	14
連結財務諸表.....	9		

シークス株式会社

証券コード 7613

SiIX  
We care.



代表取締役会長兼CEO  
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第21期株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

2012年の世界経済を振り返りますと、日本は、震災復興需要の下支えはありながら、中国向けなど外需が不振で景気後退局面が続きましたが、年末にかけて新政権への期待から株価が上昇し為替が円安に転じるなど、景気の先行きに対する楽観的な見方が広がりました。欧州経済は引き続き財政問題への懸念から低迷が続きましたが、米国では住宅市場の持ち直しなどを背景に、景気は回復基調で推移しました。アジアでは中国が調整局面にありましたが、アセアン諸国を中心に好調を維持しました。

このような情勢の中、2012年12月期の当社業績は、一昨年にタイで起きた洪水からの復興需要や車載機器、産業機器関係の好調により、前年比で大幅に回復しました。また昨年7月1日には会社設立20周年の節目を迎え、人間に例えるならば「成人式」を挙げる事が出来ました。これも偏に株主の皆様のご支援、ご鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げます。

2013年の世界経済は、依然地域のばらつきはあるものの、当社が主戦場としているアジアを中心に経済成長が続き、企業の現地生産は益々拡大するものと予想しております。当社といたしましては、今年度も、グローバル拠点ネットワーク、調達・製造・物流のワンストップサービスなどの独自性と総合力に磨きをかけて、顧客企業のグローバル化に伴う多様なニーズに幅広く対応することにより、激化する業界競争に打ち勝っていく所存であります。

当社は今年度から新社長（COO）体制にて21年目をスタートいたしますが、株主の皆様には、どうか引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

# 創業以来、着実な成長を続けてきたシークス。 その歴史を守りながら、さらなる進化をめざします。

2013年3月、シークスの代表取締役社長兼COOとして就任した桔 梗 芳人ききょうよしひとが2012年度の業績や今後の展望、戦略などについてお話しいたします。



## 2012年度の事業環境および業績について

### 大幅な増収増益を達成しました。

私どもを取り巻くエレクトロニクス業界において、2012年度は、液晶パネル、携帯電話といった商品に代表されるコモディティの分野での世界的な競争の激化や、商品サイクルの短期化がいつそう進むなど、非常に厳しい局面が見られた1年となりました。

しかしながら、当社は従来から特定の領域に偏らない戦略を採っており、非コモディティの分野においても幅広く事業を展開してきました。このような取り組みが奏功した上、一昨年、タイで起きた大洪水による影響が収束したことから、2012年度前半から中盤にかけて業績が急回復をとげました。2012年の後半には、主要顧客の在庫調整等の影響から若干成長が伸び悩んだものの、通期としては前年度に比べ大幅な増収増益という結果となりました。

分野別ではデジタル家電や長年取り組みを続けてきた車載用機器が特に好調でした。近年、電子化の進展によって裾野が急速に広がる中、アジアやヨーロッパにおける当社の取り組みが支持され、顧客数が増え続けています。

## EMSの今後の動向と御社の戦略は？

### 二極化が進む中、ワンストップサービスを展開。

ものづくりの世界はかつてのように、1社がすべてをついていたスタイルから、複数の企業がグローバルな水平分業体制を採ることで、コストを抑えながら効率良く製品をつくっていくスタイルへ変わってきています。加えて、先ほど述べたように、自動車業界や医療機器のフィールドなど、あらゆるものづくりにおいて電子化が進んでいます。このような中、私どもが展開するEMSという業態はますます利用され、その市場は成長していくと考えられます。

EMS企業同士の競争もより激しくなっておりませんが、今後は、規模の拡大を追求する「メガEMS」と、私どものように規模拡大よりもお客様のビジネスモデルに合わせた形でサービスを提供する「テラーメイド型のEMS」へ二極化していくのではないのでしょうか。私どもはこれまで通り、後者の道をしっかりと歩み、高品質の確保や、お客様のニーズへのきめ細かな対応を重視するビジネスモデルを展開していく所存です。

また、多くのEMS企業の中で、当社がユニークな会社と称されるポイントのひとつが「ワンストップ性」であると考えられます。当社は、「部材調達」「キitting」「在庫管理」「JIT対応」といった、ものづくりや物流に付帯する機能をご

要望に応じて提供しています。このような付加価値の高いワンストップサービスを展開できるのも、当社が商社を母体とした企業であり、お客様のニーズに応じて柔軟に対応する多機能性を備えているからなのです。

## 2013年度の展望と経営戦略・事業戦略は？

### ASEANでのビジネスに注力。

世界の経済環境において、欧州は依然低迷が続くでしょうが、米国や中国は着実な景気回復が見込まれます。また、昨年末ごろからの急激な円安は日系企業の輸出採算を改善しますが、海外進出を鈍らせることにはならず、企業の海外生産や水平分業が拡大する傾向は継続すると考えられます。また様々な分野で電子化も進展すると考えられ、当社にとりましてはフォローの環境であると期待しています。

このような環境のもと、地域別にはASEANでの事業強化に取り組む所存です。当社はアジアでは、中国、タイ、インドネシアに製造拠点を擁していますが、これらに加えて、フィリピンに自社工場を新設する準備を始めました。成長著しいASEANでのお客様のものづくりをよりパワーアップした体制で支えたいと考えています。

加えて、引き続き非コモディティ分野での市場開拓を進め、事業分野をさらに多様化し、個別の需要変動リスクを低

減するとともに、取引の裾野拡大の一環として非日系の優良企業様とのお取引にも注力していきます。

中長期的には、電子回路のモジュール化への対応など「EMSの高度化」や、完成品組み立て等の「川下への対応力強化」にも取り組みを拡大していきます。このようにこれまで展開してきた事業を進化させることで、さらなる成長をめざしていきます。

## 株主・投資家の皆様への メッセージ

### “成人”を迎えた企業として、 さらなる成長を!

昨年7月、当社はおかげさまで設立20周年を迎えました。20年といえば人に例えるなら“成人”です。20年間、着実に成長を続け、成人を迎えることのできた企業として、その歴史を守りながら、さらにジャンプアップして、いっそうの社会的責任を果たしていきたいですね。

そのために、大切なのはまず「人」です。当社の方針である、年齢や性別にこだわらない開かれた人材の育成・登用に磨きをかけながら、これまでのビジネスモデルをさらに進化させ、付加価値が高いサービスを提供していきます。株主・投資家の皆様には引き続きご愛顧とご支援を賜りますようお願いいたします。

#### プロフィール



き きょう よし ひと  
桔梗 芳人

1978年3月慶應義塾大学商学部卒、同年4月協和銀行(現りそな銀行) 入行。2004年4月からりそな銀行常務執行役、2006年6月から近畿大阪銀行代表取締役社長を務める。2011年10月、シークスへ入社。2012年3月、取締役執行役員 関連事業部長に就任し、2013年3月より現職。

学生時代、アメリカンフットボール部に所属し、現在の趣味もテニス、ゴルフ、自転車などのスポーツ。日ごろから筋カトレニングを欠かさず、学生時代と同じ体重をキープしている。



▲学生時代の桔梗

「お客様のためになり、社会のためになる企業をめざす。金融と商社は業界こそ異なるが、経営の根本は同じ」。モットーは「現場主義」。「これからも、現場主義をもっと徹底して貫きたい」。

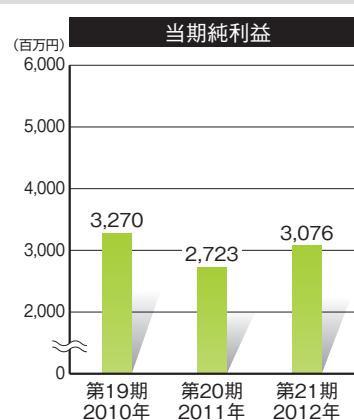
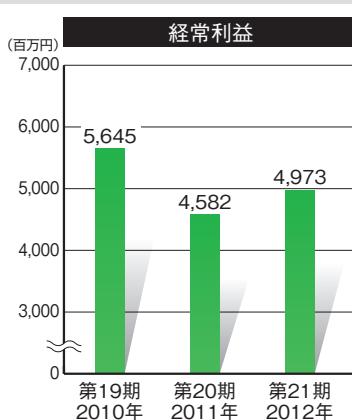
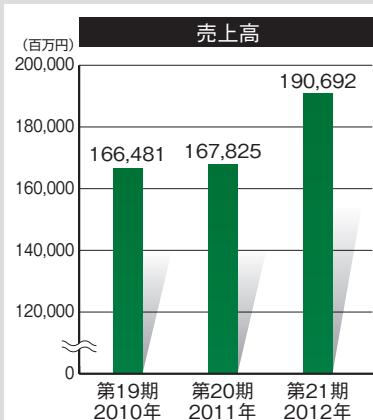
「経営の方針についても“見える化”を図りたい。これまで以上にしっかりと方針を打ち出していく」。

## ハイライト

売上高 **1,906億9千2百万円**

経常利益 **49億7千3百万円**

当期純利益 **30億7千6百万円**

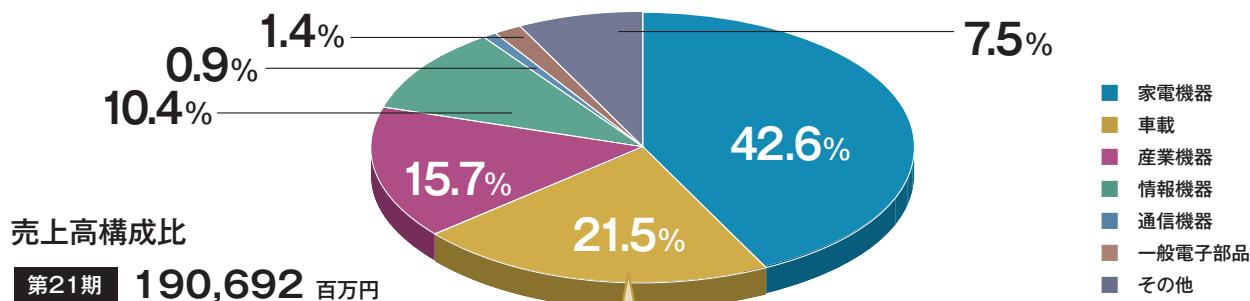
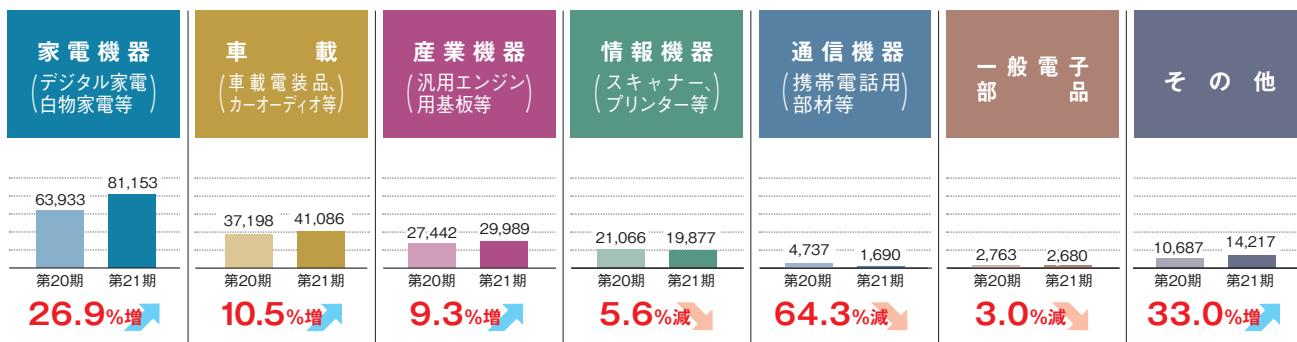


## 経営成績

当社の当連結会計年度の売上高は1,906億9千2百万円となり、前連結会計年度に比べ228億6千6百万円の増加(13.6%増)となりました。利益面においては、売上高の増加にともない、営業利益は46億4千7百万円となり、前連結会計年度に比べ6億2千万円の増加(15.4%増)となりました。また経常利益は49億7千3百万円となり、前連結会計年度に比べ3億9千1百万円の増加(8.5%増)となりました。当期純利益は30億7千6百万円となり、前連結会計年度に比べ3億5千2百万円の増加(13.0%増)となりました。

なお、当連結会計年度における当社の主要通貨の平均為替レートは、米ドルが79.91円(前連結会計年度比0.03%円高)、タイバーツが2.58円(前連結会計年度比1.5%円高)、香港ドルが10.30円(前連結会計年度比0.3%円安)であります。

## 品種別の状況



## PICK UP!

### 車載 車載電装品、カーオーディオ等



この分野では、カーオーディオやカーナビなどの車載AV機器、エンジンコントロールユニット (ECU) やメーター、ランプなどの車載電装品を取り扱っております。この分野の当連結会計年度の売上高は、41,086百万円となり、前連結会計年度比で3,888百万円の増加 (10.5% 増) となりました。これは主に、車載AV機器関連の売上が減少したものの、ECUやスイッチなどの車載電装品関連のビジネスが堅調に推移したためです。

# シークスグローバルネットワーク

幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界13カ国に約40ヶ所設置しております(2012年12月末現在)。

株主の皆様へ

特集

事業の概況

シークスグローバルネットワーク

連結財務諸表

トピックス

会社概要

株式の状況

役員状況

電子 (欧州)	(百万円)	
	5,582	5,158
	第20期 2011年	第21期 2012年

- ⑦ SIIX Europe GmbH ●
- ⑧ SIIX EMS Slovakia s.r.o. ▲

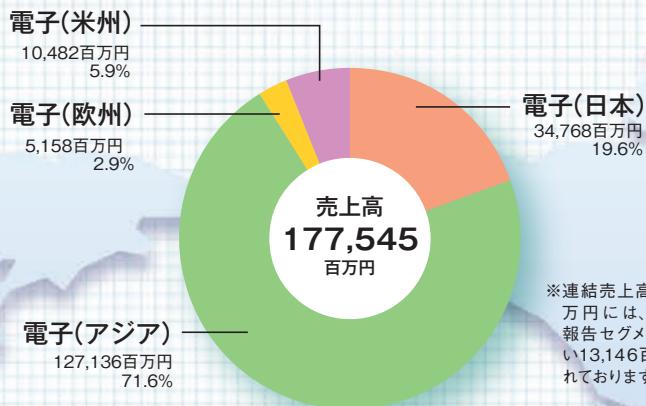
電子 (アジア)	(百万円)	
	108,913	127,136
	第20期 2011年	第21期 2012年

- ⑨ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. ●
- ⑩ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Dalian Branch ◆
- ⑪ SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Suzhou Branch ◆
- ⑫ SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. ▲
- ⑬ SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. ▲
- ⑭ SIIX (Dongguan) Co., Ltd. ■★
- ⑮ SIIX H.K. Ltd. ●
- ⑯ SIIX TWN Co., Ltd. ■
- ⑰ SIIX Bangkok Co., Ltd. ●
- ⑱ SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. ▲
- ⑲ SIIX Phils., Inc. ■
- ⑲ SIIX Logistics Phils, Inc. ●
- ⑲ SIIX Singapore Pte. Ltd. ●
- ⑲ PT SIIX Electronics Indonesia ▲
- ⑲ PT. SIIX EMS INDONESIA ▲
- ⑲ PT. SIIX Trading Indonesia ■★

## 主な事業内容

- 電子部品等の輸出入販売・物流 ●
  - 電子部品等の輸出入販売 ■
  - 各種基板実装および  
機器・部品の組立・加工 ▲
  - 支社・駐在員事務所 ◆
- ※★は非連結子会社

## セグメント別売上高構成比



※連結売上高190,692百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない13,146百万円が含まれております。

電子 (日本)	(百万円)	
	第20期 2011年	第21期 2012年
	32,424	34,768

- ① シークス株式会社
- ② シークスエレクトロニクス株式会社

電子 (米州)	(百万円)	
	第20期 2011年	第21期 2012年
	10,207	10,482

- ③ SIIX U.S.A. Corp.
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch
- ⑤ SIIX MEXICO, S.A DE C.V.
- ⑥ SIIX do Brasil Ltda.

# 連結財務諸表

株主の皆様へ

特集

事業の概況

ネットワーキング  
プラットフォーム

連結財務諸表

トピックス

会社概要

株式の状況

役員  
の状況

## ■ 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期 (2012年1月1日から 2012年12月31日まで)	前期 (2011年1月1日から 2011年12月31日まで)
売上高	190,692	167,825
売上原価	179,373	157,685
<b>売上総利益</b>	<b>11,319</b>	<b>10,140</b>
販売費及び一般管理費	6,671	6,113
<b>営業利益</b>	<b>4,647</b>	<b>4,027</b>
営業外収益	692	787
営業外費用	366	232
<b>経常利益</b>	<b>4,973</b>	<b>4,582</b>
特別利益	220	5
特別損失	108	449
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>5,085</b>	<b>4,138</b>
法人税、住民税及び事業税	1,498	1,321
法人税等調整額	425	△ 11
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>3,161</b>	<b>2,827</b>
少数株主利益	84	104
<b>当期純利益</b>	<b>3,076</b>	<b>2,723</b>

※連結損益計算書・連結貸借対照表・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

## POINT

- ・欧州の景気低迷、中国の日本製品買い控えの影響がありましたが、タイ洪水被害からの復興需要、車載関係の世界的好調が寄与し、前年比で増収増益となりました。
- ・円高基調が続きましたが、第4四半期後半以降の円安反転により、為替の影響は結果として軽微にとどまりました。

### <主な平均為替レートの推移>

	2011年	2012年
米ドル	79.93円	79.91円
タイバーツ	2.62円	2.58円
ユーロ	111.38円	102.77円
香港ドル	10.27円	10.30円

### <為替の影響額>

売上高への影響：	約 13億円減
営業利益への影響：	約0.4億円減

※当年度の売上高、営業利益を前年度の為替平均レートを用いて換算した場合との差額

## ■ 連結貸借対照表

単位:百万円

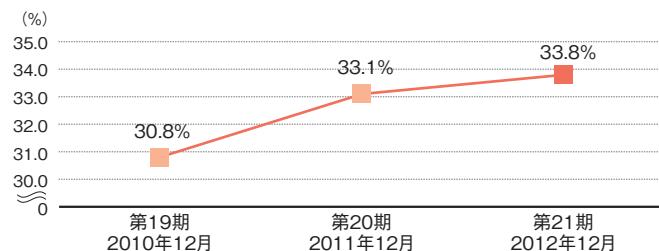
科目	当期	前期
	(2012年12月31日現在)	(2011年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	55,941	43,884
固定資産	18,761	15,587
有形固定資産	13,834	11,767
無形固定資産	638	757
投資その他の資産	4,288	3,061
資産合計	74,703	59,471
<b>負債の部</b>		
流動負債	41,079	33,475
固定負債	8,169	5,869
負債合計	49,249	39,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本	27,151	24,735
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	23,832	21,416
自己株式	△ 677	△ 677
その他の包括利益累計額	△ 1,874	△ 5,035
その他有価証券評価差額金	457	328
繰延ヘッジ損益	△ 9	4
為替換算調整勘定	△ 2,322	△ 5,368
少数株主持分	175	426
純資産合計	25,453	20,126
負債・純資産合計	74,703	59,471

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

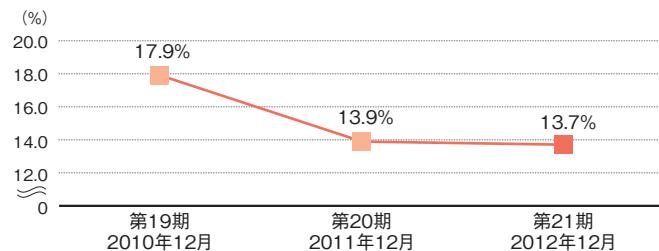
単位:百万円

科目	当期	前期
	(2012年1月1日から 2012年12月31日まで)	(2011年1月1日から 2011年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,546	163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,598	△ 3,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,932	2,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	797	△ 246
現金及び現金同等物の増減額	1,812	△ 1,325
現金及び現金同等物の期首残高	4,450	5,526
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	250
現金及び現金同等物の期末残高	6,263	4,450

### 自己資本比率



### ROE



3月

上海製造子会社が稼動

中国上海市に華東地区では当社初となる製造子会社SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. が稼動を開始しました。まずは産業機器や家電機器分野の基板実装からスタートしており、今後、華東地区での様々な分野のEMSニーズに対応してまいります。

7月

設立20周年

7月1日に当社は、サカタインクス(株)から分社独立20周年を迎えることができました。今後も「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」として、お客様の様々なアウトソーシングニーズに応えるべく、更なるサービスの拡大に努めてまいります。

10月

シンガポール販売子会社がBizSAFE (Level 3)を取得

シンガポールの販売子会社SIIX Singapore Pte. Ltd.がシンガポール政府機関が認証する規格であるBizSAFE(Level 3)を取得いたしました。この規格は、事業所内の安全と衛生につき、良好な環境を維持し、事故や病気を防ぐ仕組みを文書化し実行しているというものです。

2012年

4月

ST Electronics (Info-Comm)社との業務提携

スマート・インフラストラクチャー・マネジメントの分野において協業することを目的に、シンガポールST Electronics (Info-Comm)社と業務提携いたしました。世界各地で進められているインフラ基盤のスマート化に対応すべく、同社とのパートナーシップを強化し、スマートインフラ市場への参入を目指します。

6月

スロヴァキア経済大臣がご来社

6月下旬、スロヴァキア共和国大統領の初来日の折、同行されたトマーシュ・マラティンスキー経済大臣ら同国経済代表团一行が当社を訪問されました。当社は10年以上前からスロヴァキアに工場を持ち、同国とは長い交流関係があるため来訪されたもので、有意義な意見交換を行ったほか、大阪で開催されたスロヴァキア投資セミナーに協力するなど、交流を深めました。

9月

上海製造子会社がISO9001、14001取得

3月に稼動を開始した上海の製造子会社SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd.が品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001および環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を取得いたしました。

## 12月

### 個人投資家向け 会社説明会参加

12月15日(土)に東京で開催されました、大和インベスター・リレーションズ(株)主催の個人投資家向け会社説明会に参加しました。約400名の個人投資家の皆様にご参加いただき、当社の事業について理解を深めていただきました。

## 10月

### 国内製造子会社が ISO13485取得

当社の国内製造子会社であるシークスエレクトロニクス(株)が、医療機器産業向けの品質マネジメントシステム規格ISO13485を取得いたしました。今後、医療分野のEMSビジネス拡大に注力してまいります。

商号	シークス株式会社
設立	1992年7月1日
資本金	2,144百万円
従業員数	個別 131名 連結 9,029名
本社	〒541-0051 大阪市中央区備後町一丁目4番9号 TEL : 06-6266-6400 FAX : 06-6266-6428
東京営業部	〒102-0074 東京都千代田区九段南二丁目3番25号 TEL : 03-3238-7000
証券コード	7613
URL	<a href="http://www.siix.co.jp/">http://www.siix.co.jp/</a>



# 株式の状況

## 株式の状況

(2012年12月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,200,000株
当期末株主数	7,627名

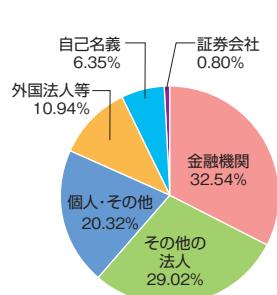
## 大株主

(2012年12月31日現在)

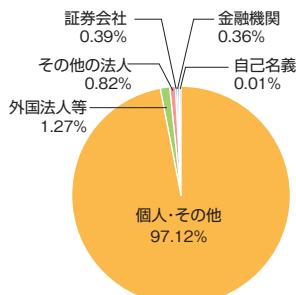
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカタインクス株式会社	5,906,000	23.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,940,500	7.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,816,400	7.20
有限会社フォーティ・シックス	1,100,000	4.36
株式会社りそな銀行	1,077,400	4.27
株式会社三井住友銀行	997,400	3.95
村井 史郎	700,000	2.77
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A.LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	485,979	1.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	360,000	1.42
野村信託銀行株式会社(投信口)	327,200	1.29

※上記のほか当社所有の自己株式1,600,431株(6.35%)があります。

〔所有者別所有株式数〕



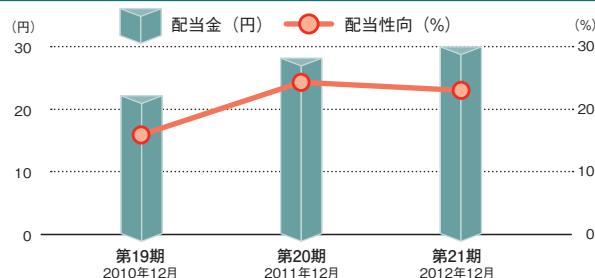
〔所有者別株主数〕



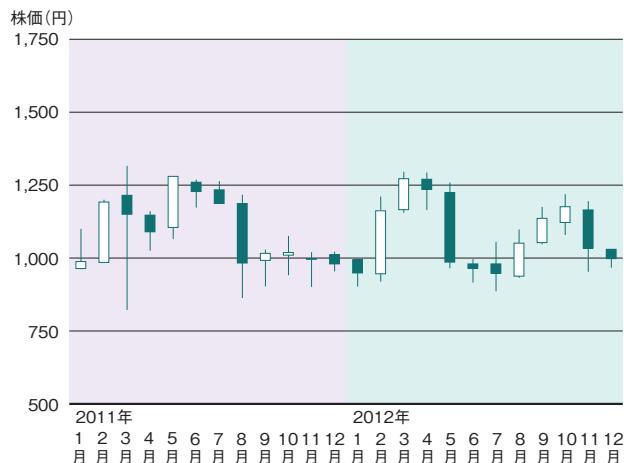
## 配当推移

当社は、株主各位に対し継続的かつ安定的に利益配分を実施することを基本としつつ、あわせて将来の事業展開と経営基盤強化のための内部留保の充実等も勘案し配当金額を決定する方針をとっております。当期配当につきましては、期末配当金を16円とし既にお支払いた中間配当金14円と合わせて年間30円の配当としております。

## 配当金および配当性向



## 株価推移 (2011年1月～2012年12月)



## 株主優待

### ギフトカード

- 対象：毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元（100株）以上の当社株式を保有の株主様



内容（お一人あたり）	
10単元（1,000株）以上	3,000円分のギフトカード
5単元（500株）以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元（100株）以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

- ※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。  
 ※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

### タイ旅行

- 対象：1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様  
 ※「1年以上連続保有の株主様」とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。
- 内容：当社の主力事業であるEMS（電子機器受託製造サービス）に対する理解を深めていただくことを主眼に、当社基幹工場・タイ工場の視察を含むタイ旅行に、抽選で10名の株主様をご招待いたします。（毎年1回）



## 役員状況

（2013年3月28日現在）

代表取締役会長 執行役員	村井史郎	CEO（最高経営責任者）
代表取締役社長 執行役員	桔梗芳人	COO（最高執行責任者）
取締役 執行役員	近藤恒雄	経営企画部長兼秘書室長兼総務部担当
取締役 執行役員	岡田雅夫	大阪第一営業部長兼資材統括部担当 兼北米地域、南米地域、フィリピン、韓国、台湾担当
取締役 執行役員	水谷嘉弘	東京営業部長
監査役 （常勤）	東尾茂郷	
監査役	高谷晋介	仰星監査法人 代表社員、副理事長 フジ住宅株式会社 社外監査役
監査役	富山浩司	サカタインクス株式会社 常勤監査役
執行役員	岩武孝明	欧州地域担当 兼 SIIX EMS Slovakia s.r.o.担当 兼 SIIX Europe GmbHマネージングディレクター
執行役員	松嶋義彦	シークスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長
執行役員	大野精二	経理部長
執行役員	長谷川健二	情報システム部長
執行役員	高羽斎志	SIIX EMS(Shanghai)Co.,Ltd. 董事長 兼 総経理
執行役員	中井徹郎	PT SIIX Electronics Indonesia マネージングディレクター
執行役員	外山正一	シンガポール地域担当 兼 SIIX Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター
執行役員	好川 浩	インドネシア地域担当
執行役員	松下宇一郎	大阪第二営業部長 兼 中国華東・華北地域担当
執行役員	吉田明生	香港・中国華南地域担当 兼 SIIX H.K. Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS(DONG GUAN)Co.,Ltd. 董事長
執行役員	辻本哲男	タイ地域担当 兼 SIIX EMS(THAILAND)CO.,LTD.担当 兼 SIIX Bangkok Co.,Ltd. マネージングディレクター
執行役員	友田雅之	関連事業部長

※監査役のうち、高谷晋介氏、富山浩司氏は社外監査役です。

株主の皆様へ

特集

事業の概況

ネットワーキング

連結財務諸表

トピックス

会社概要

株式の状況

役員状況

## 株主メモ

---

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
期末配当金 毎年12月31日  
中間配当金 毎年6月30日  
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネット  
ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株  
上場取引所 東京証券取引所市場第一部  
大阪証券取引所市場第一部  
証券コード 7613

---

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

### 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

### 証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

## IRメール配信のご案内

---

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ(<http://www.siix.co.jp/ir/newsmail/>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。

---



この冊子は植物油インキを使用しております。